

01 生活に美術を持ち込むために

「OPEN ART CLASS」は、浜松を中心に活動する若手作家たちによる展覧会。2010年に立ち上げ、2015年からは浜松市鴨江アートセンターを会場に毎年開催してきました。出展アーティストを募り運営を行うのは、自身もイラストレーターとして活動する「いきものだもの」さん。「OPEN ART CLASS」のこれまでの活動や、今後のありかたについて考えていることをお聞きしました。



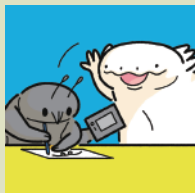
- | | | |
|---|---|---|
| 1 | 2 | 3 |
| 4 | 5 | |
- いきものだものさんの展示
 - 中村菜月さんの展示
 - 毎年DMをつくって開催を知らせる
 - 高橋万莉子さんの展示
 - 展覧会ではアーティストグッズが購入できるコーナーも

立ち上げから今まで

「OPEN ART CLASS(以下OAC)」は、2010年に浜松学芸高校OB・OGで始めた展覧会です。数年間クリエイト浜松で開催し、その後鴨江アートセンターの雰囲気惹かれ、2015年から毎年鴨江アートセンターで、10名〜20名程度の出展アーティストを募り開催しています。

「with コロナ」時代に突入して

昨年の新型コロナウイルスによる自粛要請で、OACをお休みし「浜松で開催するグループ展って何のためにあるんだろう？」というのを考える機会を得ました。美術の展示というと、首都圏や都会でやってなんぼという感じがありますが、僕はこのOACを通じて、そうではないと思うようになりました。僕ら制作者は、都会住まいか地方住まいかに関わらずずっと何かを作ってしまうために、表現に関する技術や知識を人より蓄積します。僕らはその成果を発表し、自作の効果を確認したくなりますし、大抵の場合、鑑賞者は作品から何か普通ではない体験を得ることができます。つまり首都圏か地方かに関わらず、美術展覧会は制作者、鑑賞者が共に楽しい催しになりやすいのです。



いきものだもの

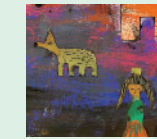
やさしい・ゆるい・わかりやすいをモットーに、生き物のイラストを描いているイラストレーター いきものだもの と申します。浜名湖体験施設ウォットのフライヤーポスターデザインを担当。その他、生物をテーマとした雑誌や書籍などのイラストを担当しています。全ての生き物を友達を描くようにイラストにするのが僕の夢です。SNSでほぼ毎日イラストをアップしているので、ぜひ検索してみてくださいね。

<https://twitter.com/ikimonopd/>

02 GOKINJO MAP

アーティストが こどもたちに おすすめする場所

- 自己紹介をお願いします。
- こどもの頃のおもいで場所は？
- おすすめの場所を教えてください。
- おすすめのポイントは何ですか？



とづかゆう

1. 様々な素材をモチーフに、絵画・人形など創作活動をするかわら、絵のせんせいとしてワークショップに参加。2. 家のうら山。地層や化石をさがしに、化石好きの兄によくついていった。たま〜に1人で探検したり。3. 鴨江町〜鴨江4丁目付近さんぽ 4. 小さな小径や坂や階段、お店もちらちら。疲れたら、大賀たんぼ広場でおかしやパンを広げて、絵本の「こぶたはなこさん」ごっこをします。



鴨江町〜鴨江4丁目



明石 雄

<https://yuakashi.com/>

1. 美術家です。色砂や糊やメディウムを使ったレリーフ状の作品を作っています。2. 小学生の時、近所にある高天神城跡の山で徳川軍と武田軍に分かれてサバイバルゲームをしていました。徳川と武田に分かれたのはごく自然なことで無意識でした。3. 年齢を問わず浜松城公園をおすすめします。4. 自分は歴史に疎いんですけど、それでもこのような場所で自由に遊ぶことで自然とこの土地の持つ歴史や文脈に触れることになるでしょう。



浜松城公園



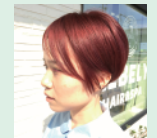
乾 久子

<http://hisakoinui.com/>

1. 美術家。佐鳴湖の近くに住みドローイングをしています。くじびきドローイングという楽しいワークショップも時々やっています。2. 藤枝東高校の図書館裏。お昼休みはいつもそこに行き、親友と二人きりでお弁当を広げて過ごしました。もうその友達はいません。3. 中央図書館おはなしのへや 4. 素敵な絵本の読み聞かせや、お話が聞けます。誰かに読んでもらったり、語ってもらって聞く物語は格別です。



浜松市立中央図書館
おはなしのへや



友野 可奈子

<https://canaco-t.tumblr.com/>

1. イラストのお仕事をさせてもらったりしています。広い空間で好きな絵を赴くままに描いてみたい。2. 子供のころ母の友達と絵本が天井まで並ぶような絵本屋さん(だったのか…?)に行ったのは印象的でその中から佐々木マキの「ねむいねむいネズミのクリスマス」を見つけて選んだ経験は鮮明で今もその本は大切な絵本です。3. キルヤさん 4. 物語があちこちに潜んでいるようなお店だから。



絵本の店 キルヤ



横村 雄輝

<https://twitter.com/666tukuri/>

1. 1988年生まれ。浜松出身。福祉施設に働く傍ら、張り子や音の作品を制作しています。2. 掛塚橋：ピンク色。橋むこうの異世界感。歩くとき長い。3. 五社公園と旧はまホールを結ぶ橋 4. 激しい傾斜の橋。浜松大空襲とその後の街並みを行き来できる。



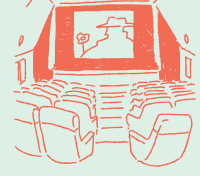
こどもの橋
五社公園と旧はまホールを結ぶ橋



廣瀬悠一

<https://twitter.com/solidknit/>

1. 椅子や部品といった、中身の詰まったかたいものを編み物で造形する「ソリッド編み機」をつくっています。2. 高校生のとき下高井戸シネマで初めてミニシアターというものを体験し、こういう世界があるのか〜と印象的でした。3. シネマイーラ 4. 館内の雰囲気、椅子の座り心地、そして上映後に流れるなんと叫ばない音楽、すべて最高です!



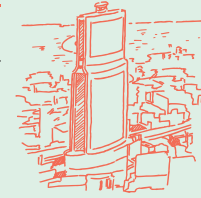
シネマイーラ



松田 優

<https://www.uo-design.jp/>

1. ボールペン、医療機器、椅子、パネ、玩具、櫛、棚、ピアス、仏壇、時計、本などをデザインしています。2. 学校の裏山の展望台/100mくらいの高さの山から町を眺め、自分がいつも遊んでいる小学校の校庭や街を見ていました。3. アクトタワーのエレベーター 4. いつも暮らしている街を高いところから見ることが出来ます。



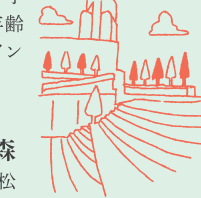
浜松アクトタワー
アクトシティ浜松



江川野 智典

https://www.instagram.com/tomonori_egawano/

1. ガラス作家(大阪育ち 静岡在住17年) 2. 小学生 家の近所にある公園は、遊具が何も無いただの広場だったので、遊びを工夫する楽しさが面白くて友達と何でもアリな、どうでもいい遊びを毎日していました。何もない良さを、子どもながらに知った思い出です。3. 年齢とわずアクトの森 4. 浜松にもハイラインがありました。



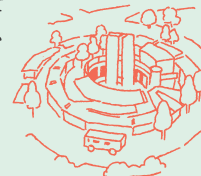
アクトの森
アクトシティ浜松



村松優紀

<https://www.instagram.com/f9940307/>

1. 浜松で器 infecto. という名前でも陶芸に関わる活動をしています。2. バス通学で、バスの行き先の終点の地に思いを巡らせながら結局毎日学校に通っていました。3. バスターミナルはいろんなところにつながっています、あてもなくふらっと乗ってみても楽しいかもしれません。4. きちんと降りて学校に行っても、終点まで行ってみても、どちらもきつと楽しいんだと思います。



浜松駅バスターミナル



Soushi Mizuno

<https://twitter.com/soushimizuno/>

1. バンドマン/サウンドプロデューサー/音響屋です。以前ライブハウススキルヒェアのオーナーもしていました。2. 中学〜高校時代。ライブハウス窓枠のバンドクラブに入り仲間や講師たちと切磋琢磨した事。3. 15、6歳以上くらいの方、ライブハウス窓枠 4. 何か音楽をやりたいていと言えきつと何かしてくれるはず、という点。



Live House 浜松窓枠